

令和7年度 第2回学校運営協議会 議事録 令和7年11月19日（水）10時～実施

1. 校長より

本日はお忙しいなか本校にお越しいただきありがとうございます。ご都合がうまくあわず3名の方がご欠席ですが、本日の協議会で本校の学校活動がより良いものになっていければと思います。

今年の中秋の名月は10月6日、十三夜は11月2日でした。お月見は9月のイメージが強いのですが、暦の関係で今年はだいぶ遅い名月でした。

秋風もさわやかなこの季節の月が一年で一番美しい、と昔の日本人は旧暦の8月15日の月、9月13日の月を愛してやまなかったそうです。まあ、近頃は8月9月は夜も暑くてお月見どころではないようで、10月11月になってかえってよかったですかもしれません。

昔はお月見の晩に限り子供たちはお供え物を盗んで食べてもよいという風習がありました。お供え物がなくなった家は「神様が食べた」として縁起がよいと喜んだそうです。今はそんな風習も忘れられ、ハロウィンにとってかわられてしまったようです。

ところで月は満ち欠けをしてその美しい姿を私たちに見せてくれますが本当にその形を変えているわけではありません。太陽と地球との位置関係で見える姿が違うのです。満月に見えたり、半月に見えたり、三日月に見えたり。

これを人間に当てはめてみたいと思います。人間も実は可能性に満ちた大きな存在です。満月のように大きく輝くことができます。ところが様々な要因でその本来の力を発揮できないこともあります。まるで同じ月が光の浴び方によってその表す姿を変えるかのように。

人間は自分自身に光を当てています。将来大きく羽ばたけるように努力をしています。生徒たちは今その努力の真っ最中です。光をうまく当てれば輝く満月になれる。どのように光を当てればいいのか、つまりどんな努力をすればいいのか探している時代なのです。私たちはその努力を支える存在でありたいと思っています。それは様々な要因であると思います。学習の支援・キャリア教育の情報提供の支援・また安心安全に過ごせる環境の支援・人間として成長するための心の支援、それらは高校の教員だけでは完全に網羅することはできません。ですからこうやって学校外の皆様にご助言をいただく機会を設けています。

是非、生徒の成長につながるご助言を賜ることができますようにお願いします。
(ということで今日は月にちなんだお菓子を用意しました。お召し上がりください。)

この後、本校のグループの代表がここまで半年で努力してきたことを説明します。また、後半は学習について、キャリア支援についての協議をしていただきたいと思いますのでよろしくお願ひします。

ちなみに旧暦 10 月 10 日は「とおかんや」と言って稻の刈り取りが終わった時期の収穫祭としてお月見をお祝いされていたようです。今年は 11 月 29 日です。今から予定を立ててみてください。

2. 議題

各グループから本年度学校評価報告書の中間評価について説明

1) 学習支援グループから

- ・昨今 ICT の充実が謳われています。ここ 1, 2 年は iPad の導入がありましたが、教員がまだ慣れていないのが実情です。また ICT の研修会を行っており Canva の説明があったのですが、まだまだ生徒に還元できていないのが現状です。

(意見・質疑応答)

- ・実生活で活用する力を育てたいと思っています。何かをやるために道具として使うことを極めたい。Canva も結果を得るための道具として優秀だと思います。ICT を活用した成果をみんなで共有して欲しいです。AI の活用は学校ではどうなっていますか?
→立ち遅れている感があります。今検討中です。

- ・様々なところで AI をうまく使っていかないといけないと思っているが、使い方には気をつけなければいけない。自分で論文を書くよりも良いものができあがる。

AI についての指針を大学で出していますが、AI とどう生きるかということを突き詰めています。

- ・若い人はスマホなどを使いこなしていてすごいです。
- ・自治会長さんからの依頼で、月 1 回 AI 講座をやっています。まもなく ICT でなく、DX という名前に変わります。
- ・就労関係ではまだまだ Windows を使用しています。そちらもフォローしてあげてください。

→音声入力だけでなくキーボードも買わせて使い分けをし、力をつけています。 (副校长)

- ・横浜市では仮想空間の使用を進めています。私たちは仮想空間の中で美術展をやろうかと検討しています。

・小テストの配信やレポートの提出など学習支援ツールを使用しています。電子テキストを使用していますが、iPad がいいと思います。カルテは Windows ベースでノート PC を使用しています。DX 化は進んでいます。学生たちのほうが使いこなしています。

2) インクルーシブ教育推進グループから

- ・今年度入学生は欠席の多い生徒もなく、友達も多く、充実した学校生活を送っているように思います。2 年生はクラス替えをしてから、落ち着かない時期がありましたが、今は落ち着いています。

24 期生は昨年からインターンシップに参加しており、今の段階でほぼ進路希望を確定しています。生徒支援、キャリア支援との連携はうまくいっていると思います。

TT の授業は特別生徒だけでなく、本来はすべての生徒のためですが、まだまだ浸透していないのが現状です。授業スタイルを提案していければと思います。

(意見・質疑応答)

- ・特別募集生徒以外の生徒への影響は何かありますか？相乗効果のようなものは？
→学校目標の中に『福祉マインド』があり、元々生徒が持っている優しさが変わらずに続いているようです。
 - ・特別募集生が休まず、行事に参加しているのが偉いと思います。クラスに溶け込んでいるので、南陵の持つ元々の雰囲気がいいのではないか。
 - ・特別募集生徒にわかる授業をしていれば、他の生徒にもわかりやすい授業であるので有効であると、校長研修で話がありました。私も良い効果があると思っています。
 - ・大学にも合理的配慮を要する学生が複数います。アセスメントをして個別に対応しています。どこまですれば合理的配慮なのか、基準がありますか？何をもって最大限の配慮なのか迷っています。南陵高校はどう取り組んでいますか？生徒にもどのような要求をしていますか？

→自然な形で入り込んでいるので。

- ・メンタルの弱い学生もいるので、教室に入るのも難しく、グループワークもさせるのが難しい。どのように対応すればいいのか？
 - ・特別募集生は、中学で指導されているので特に困っていることはありません。特別募集生、保護者と合意形成をしていて、何ができるかということを詰めています。
 - ・大学入学前に話し合いをしているのですが、学生は本心を言うと入学できないんじゃないかなと思って言ってくれません。高校と連携して連絡があれば、スムーズに学生生活が送れるのではないでしょうか。

→一般生徒への効果というと、生徒には誰が特別募集生かは伝えていません。生徒の中には特別募集の生徒に説明したり指示する力のある者もあり、譲り合いの精神も育ってきてているように思います。

他の高校では1クラスに特別募集生を固めてしまう高校もありますが、本校では最低2人をクラスに入れることにしています。生徒にいろいろな人が関わって生活しているという考えを身に着けさせたいと思います。

合意形成に関しては、入学予定者説明会のときに時間を取っていますが、今のところ、大きな相談はありません。（校長）

3) 管理運営グループから

- ・防災については、昨年度から、外に出るオーソドックスな避難訓練を実施しています。さらに11月5日に生徒に連絡しない抜き打ちの避難訓練を実施し、スムーズにできました。
校内美化については、放課後の清掃などを含めやっております。

(意見・質疑応答)

- ・先日、本学もやりましたが、避難ツールを確認しただけで終わりました。事前にアナウンスしないで訓練されたのはすごいと思います。防災・消火訓練はしていますか？

→いろいろなバリエーションの中でやっています。1回目は方面別に下校訓練を行い、事前アナウンスなしの訓練は2回目にやったのですが、良かったです。不審者対策で、事務室にさすまたはありますが、職員は使い方を知らない人も多いです。（校長）

4) キャリア支援グループから

・Classi を使い、生徒が家庭で自学自習できるようにしています。例えば数学ならば、問題をレベル別に配信し、解答、解説まで配信しています。全教科で使用できるように検討中です。

ICT を活用して、Google で進路情報発信や大学や専門学校の先生たちに実際に来校して話をしてもらうキャリアガイダンスを実施しています。

今年は94人が指定校で進学先が決まっており、残りは総合型で受験します。総合型入試は12月中に決まるなど前倒しでの入試が増えています。

一般入試は30人が希望しています。

(意見・質疑応答)

・専門学校では前倒し入試をしているが4月からの勉強量のギャップに対応できるように、月に1度専門学校に来校させて勉強する機会を作っています。

5) 活動支援グループから

・年間行事を考慮して、委員会の集まる頻度を増やし、行事の活性化に努めています。体育祭はどんな競技が良いかなど生徒たちとともに企画運営しました。

今年の文化祭の後夜祭では、生徒からランタンを飛ばしてみたいという申し出があり、実施しました。また、先日の生徒会選挙では、ポスターを昇降口に貼ってみたところ、選挙管理委員の生徒から「楽しかった」などの反響がありました。

(意見・質疑応答)

・生徒同士のやり取りの中でのトラブルはなかったのか？

→比較的穏やかな子が多いため、目立つ問題は特にありませんでした。

・専門学校の学園祭では、コロナ禍で行事を経験できなかった学生たちがおり、教員が介入しなければならない問題が多数ありました。南陵ではどうですか？

→委員会ではありませんでしたが、各クラスではコミュニケーションが難しい等、担任が介入することもありました。

・生徒はよくやっていると思います。

・総合型入試では、ほとんどの生徒が「行事が印象に残っている」と答えています。大学入試でも関係あるし、価値のある思い出だと思います。

→文化祭のランタンを見て、良い取り組みをしているなと思いました。来年度も楽しみにしています。（校長）

6) 生活支援グループから

・以前と比べると生徒指導に関わる生徒は少なく、支援を必要とする生徒は多くなっています。

問題が起きたときにどこに問い合わせたらいいかを可視化するため、フローチャートを配布しています。ただ保健室に相談にくることが多いです。

職員会議の中で月に1回、生徒情報を共有するようにしています。

SNS 絡みの問題が多く、かつては話せば解決する問題が解決できなくなっています。

(意見・質疑応答)

- ・問題行動とは？

→SNS での誹謗中傷などです。情報モラル講座をやっているが、それでもメッセージの誤解がおきている。

- ・SNS 問題はしばしば起きている。家で指導してほしいと思っています。
 - ・KDDI の研修をするが、保護者に参加してもらっています。
 - ・高校ではスクールカウンセラーが関与してくれています。まだ家庭ではわかっていない段階で、スクールカウンセラーさんが活躍しています。
 - ・いじめと訴えてきたら、「いじめ」と受け取ります。横浜市では3ヶ月前まで追っています。小学校でも SNS 講座をやっているが、実際の生活に結びついていないです。授業で実際にメッセージを送り合わせて、「どう思う？」と振り返りをさせています。
 - ・講座を実施したときはわかるが、その時の気分で受け取り方が変わってしまうようです。
 - ・アンガーマネジメントが必要だと思います。
 - ・自転車の乗り方について地域の方に迷惑をかけています。
 - ・法律が変わり来年から自転車のルールが厳しくなるので、状況は変わるのでしょうか？
- 大人もできていないので高校生から大人もやっているじゃないと言われてしまっています。
- 問題行動が減って、相談案件が増えています。本校は生活支援という名前になっていて、学校外のスタッフも頑張っています。 (校長)

7)研究広報グループから

- ・総合的な探究の授業で、地域の様子や、連携、相互理解を深める活動を実施しました。港南区の聴覚障害者協会の方による手話講座を実施しました。

(意見・質疑応答)

- ・地域の定義や範囲は？

→できるだけ広くとは考えているが、今のところ港南区を地域として見ています。

→認知症サポーターの方との交流、租税教室、キャンドルナイトへの作品出品も地域と協力して実施しました。生徒が地域で防災訓練やお祭りの準備なども行っています。港南区と言ったが洋光台のほうが近いからどちらか決めるのは難しいです。本校は港南区以外に、磯子区とも何かと交流が多いです。 (校長より補足)

4 分科会

○Classiについて説明

学習トレーニングを活用しています。Classi で問題を生徒に配信して生徒に自学自習してもらうものです。個別最適な学習に対応しており、動画がついている問題もあります。週末、長期休業中など定期的に課題を発信しています。生徒はその場で正解不正解がわかり、動画で説明があるのでいい手応えがあるように思います。

(意見・質疑応答)

・教員側の負担が減るような、生徒の状況をフィードバックしてくれる仕組みがあるんですか？

→個人と全体の正答率がわかるので、生徒の理解度がわかる仕組みがあります。

・昔の e ラーニングは最初の計画を立てたりと教員の負担が増えていたので、Classi はコンテンツを選んで配信できるのでいいですね。

* (意見・質疑応答) に関して、意見、質疑は・、→はその回答です。

5 事務連絡

次回第3回学校運営協議会は3月に実施予定です。また、日程調整の連絡をしますのでよろしくお願いします。